

はじめに

令和2年より新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいはじめ、社会全体の動きが制限されるようになりました。私たち地域包括支援センターとしても、それらの影響を大きく受け、地域における連携・協働の体制づくりが十分に行えなくなりました。そのような中でも、民生委員の皆様と地域で活躍されている介護支援専門員との顔の見える関係作りを行うべく、令和3年度より広報誌「ちーむ湯築・桑原・道後」を発行してきました。



この度は、新型コロナウイルス感染症が(感染症法の)5類に引

き下げられることを機に、改めて連携・協働の体制づくりを積極的に行っていきたいと考えております。また、「ちーむ湯築・桑原・道後」につきましては、従前から地域包括支援センターの活動内容等をお知らせするために発行しております「まちかど通信」に統合することとしました。これからも、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、職員が一丸となって頑張っていきたいと思っておりますので、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。



各地区の民生児童委員協議会会長からのご挨拶



道後地区/戒田 民子 会長

道後地区民生児童委員協議会会長の戒田でございます。微笑みを絶やさないよう、地域の皆様の身近な相談員として、関係機関とのつなぎ役として、努力してまいりたいと思っておりますので、いつでも声を聴かせてください。どうぞよろしくお願いいたします。



湯築地区/磯野 誠三 会長

今まで、湯築地区社会福祉協議会会長をさせていただいておりましたが、昨年12月より湯築地区民生児童委員協議会会長もさせていただくことになりました。地域の皆様の、福祉の増進のために頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



桑原地区/仙波 正 会長

昨年12月より、桑原地区民生児童委員協議会会長をさせていただいております、仙波正でございます。今後ますます地域の中でも高齢化が進むと思われませんが、地域の高齢者の方々の不安を少しでも取り除き安心して生活できる環境づくりを目指して、力不足ながら努めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



五明地区/梶川 志津子 会長

昨年12月より五明地区民生児童委員協議会会長を務めさせていただいております梶川でございます。「声掛け・見守り・気づき」から相談へとつなぐパイプ役として、地域の皆様の手助けができればと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



伊台地区/谷 康彰 会長

伊台地区社会福祉協議会会長、民生児童委員協議会会長をさせていただき早7年目となりますが、皆様方のご協力のもと伊台地区の福祉の促進のために頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



湯山地区/秋山 啓二 会長

湯山地区民生児童委員協議会会長を務めさせていただいて10年目になります。地域の皆様方とそれぞれの機関のパイプ役として、引き続き頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。





地域ケア会議を行いました ～ 圏域会議・センター会議 ～



令和4年11月18日(金)五明・伊台・湯山地区の地域ケア圏域会議を行い、11月21日(月)湯築・桑原・道後地区の地域ケア圏域会議を行いました。五明・伊台・湯山地区

では相談医の先生、各地区の民生児童委員協議会の会長、まちづくり協議会、タクシー会社、警察、消防署、松山市都市整備部都市・交通計画課等の皆さままで「地域の移動手手段の確保について考える」というテーマで意見交換会を行い、湯築・桑原・道後地区

では相談医の先生、各地区の民生児童委員協議会の会長、社会福祉協議会、地区防災士、薬局、警察、消防署等の皆さまから「地域の防災『支援が必要な方の避難について考える』」というテーマでご意見



をいただきました。

をいただきました。

さらに、令和5年3月17日(金)令和4年度地域ケアセンター会議を開催し、両会議で話し合った内容を議題として6圏域からお集まりいただいた参加者の皆さまで意見交換を行いました。予定していた時間内では収まりきれない白熱した会議になりました。

久しぶりに集合して地域ケア会議を行い、改めて顔が見える関係性づくりが大切だと包括職員だけではなく、参加した皆さまも感じておられたことが印象的でした。

これからも湯築・桑原・道後・五明・伊台・湯山地区の地域包括支援センターとして地域の皆さまが感じている課題に取り組んでいけたらと思っています。



これからも湯築・桑原・道後・五明・伊台・湯山地区の地域包括支援センターとして地域の皆さまが感じている課題に取り組んでいけたらと思っています。

これからも湯築・桑原・道後・五明・伊台・湯山地区の地域包括支援センターとして地域の皆さまが感じている課題に取り組んでいけたらと思っています。

これからも湯築・桑原・道後・五明・伊台・湯山地区の地域包括支援センターとして地域の皆さまが感じている課題に取り組んでいけたらと思っています。

湯築・桑原・道後地区

テーマ：地域の防災『支援が必要な方の避難について考える』

意見：災害や避難についての周知・啓発が必要
マイタイムラインや見守り安心キットの活用
災害時の電源の確保や避難所の状態の把握、住民同士の交流が必要

まとめ：支援が必要な高齢者の避難について、避難経路の確認や災害に応じた対応の仕方等行政や消防・警察に依頼し防災に関する講演会や訓練、交流会も兼ねた情報交換会を検討する。

五明・伊台・湯山地区

テーマ：『地域の移動手手段の確保について考える』

意見：乗合いタクシー(あいみょん号等)の周知が必要
住民同士の交流が減り、孤立感が高まっている
→集いの場が必要

まとめ：コミュニティの状況を調査し、希薄な地域での集いの場・情報交換の場の立ち上げを関係機関と協力しながら目指す。



- 地域包括支援センターでは、出張相談・介護予防教室・認知症ケア向上事業を行っております。
- 最新の開催情報は松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後までお問い合わせください。

Instagramもご覧ください
閲覧はこちらから →



お問い合わせ先

松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後
松山市持田町1丁目3-30 シェーンブルン持田1F
TEL 089-993-5666 (月～金 8:30～17:15)

サブセンター五明・伊台・湯山
松山市末町甲9-1 愛媛県在宅介護研修センター3F
TEL 089-993-5661 (月～金 8:30～17:15)